



## 持続可能な モビリティ社会の実現

日産自動車株式会社  
最高執行責任者

志賀 俊之

皆様には、いつも暖かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2011年度、日産は複数の自然災害と為替変動による逆風にも拘わらず、速やかに必要な手立てを講じ、過去最高の販売台数と成長を実現しました。

今もなお、いくつかの大きな市場で経済不安が懸念されるものの、日産は2011年度の勢いに更に弾みをつけ、確かな戦略と自信を持って2012年度に臨んでおります。

2012年度は、量販のグローバルカー3車種、アルティマ、シルフィ/セントラ、ノートを刷新します。日本においては、4月に発表したシーマを皮切りに、NV350 キャラバン、ノート、ラティオ、シルフィと新型車5車種を投入します。あわせて既存のラインナップについても、セレナにS-HYBRIDを投入するなど、

大幅に強化していきます。

また、日産リーフに搭載している駆動用の大容量リチウムイオンバッテリーに蓄えた電気を住宅へ供給する"LEAF to Home"を市場に導入しました。"LEAF to Home"は、夜間電力や太陽光発電を使って日産リーフに充電し、蓄えた電気を日中の電力需要が高まる時間帯に使用することで、家庭への安定した電力供給や電力消費のピークシフトに貢献します。また、停電時や非常時などには、バックアップ電源としての活用が可能で、かつ料金の安い夜間電力を日中に活用することで、電気料金の節減も期待できます。日産は、電気自動車のもつ新たな価値を創造し、ゼロエミッション社会の実現に向けて邁進し続けてまいります。

そして、新興市場においては、2012年度も引き続



ノート



LEAF to Home

き事業の拡大を進めます。中国では自主ブランド、ヴェヌーシアの最初のモデルを4月に投入しました。ヴェヌーシア・モデルを投入することで、当社は400万台規模の中国のエントリー・セグメントで初めて戦うことになります。

また、ダットサンの復活も宣言致しました。2014年から、同ブランドをインドネシアを皮切りにインド、そしてロシア市場に展開するべく、準備を進めています。ダットサン・ブランドのもと、これらの成長著しい市場のお客さまにモダンで価値の高い商品をご提案してまいります。

ラグジュアリー・ブランドについては、インフィニティビジネスを統括する機能を香港に開設いたしました。インフィニティの販売は伸びており、ますます重要性を増している日産の財産です。2012年度は、チリやオーストラリア等、インフィニティを複数の市場に新規投入し、2016年度までには70にのぼる市場で販売します。

中期経営計画「日産パワー88」では、ブランド・パワーとセールス・パワーの強化を会社の重点項目として位置づけています。強いブランドは、販売・マーケティングプロセスのあらゆる領域に寄与します。日産は、ストーリーを語る力を「コトづくり」と呼んでいますが、この「コトづくり」を通して、今まで以上にお客さまの心に訴える取り組みを進めてまいります。日産は今年、グローバル・ブランド・キャンペーンを実施しています。本キャンペーンは主な国際空港で展開しており、大勢の空港の利用者の方々が一貫したメッセージを目にされています。

これまで、日産は日本企業として、「モノづくり」を大事にして参りました。モノづくりに加えて、「コトづくり」を通じて、「日産ブランド」をお伝えすることで、お

客さまとの間に、意義のある、長期的な関係を築いてまいります。

日産は、世界中のパートナーとの協力関係も、ルノーとのアライアンスを軸に、ダイムラーとの戦略的協力関係やアショック・レイランド、三菱自動車、そして資本参加を発表したアフトワズ等、幅広い協力関係と長年に亘る良好なパートナーシップを維持し、自動車業界の中で最も持続的な成果を生み出しています。

その結果、2011年暦年のルノー・日産アライアンスのグローバル販売台数は、アフトワズを含めて800万台を超え、今や世界トップ3の自動車グループの一つとなりました。

当社の環境・安全・CSR活動のベースとなるブルーシチズンシップでは、2011年度は、東日本大震災からの復興支援に力を注ぎました。従業員、そしてビジネス・パートナーの皆様のご協力により、被災地の方々に支援を行って参りました。日産が事業を行う世界各地で、私どもは、人々の生活を豊かにすることを目指し、活動を続けています。

2012年度に臨むにあたり、日産は更に成長を加速する態勢が整っています。ブランド力の向上と、商品・技術、生産能力の増強などを推し進め、当社は日産パワー88を完遂し、それ以降も発展し続けることができると確信しています。

私は、皆様のご期待に応える日産の将来像の実現に向かって、全力を尽くすことをお約束いたします。日産は、業界をリードするグローバル自動車メーカーとして進化を続け、持続可能なモビリティ社会の実現に向けた責任ある推進役として、これからも取り組みを続けてまいります。

今後とも、どうぞ日産にご期待ください。



グローバルブランドキャンペーンの画像